

青少年は
地域社会から
はぐくむ
～愛のひと声運動～

みちびき

発 刊

福島市青少年センター
福島市青少年センター補導委員会

福島市宮下町1番15号
TEL 535-7310
FAX 535-7310

～青少年健全育成のために～ 街頭補導活動を実施しています

福島市長から委嘱された補導委員123名が、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことを目的として、学校や駅前周辺などを中心に巡回活動を行っています。

青少年を見守り、健やかに成長できるように思いやりをもって「愛のひと声」をかけています。

通 常補導活動

学校周辺のほか福島駅前の娯楽施設やアオウゼ、こむこむなど学校帰りに子どもたちが集まりそうなところを重点的に巡回しています。道行く子どもたちに「気をつけて帰るんだよ」など愛のひと声をかけています。

夜間には自転車の灯火指導も行っています。



愛のひと声運動

子どもたちに安心感を

福島市青少年センター
補導委員会

会 長 佐藤 達哉



新年早々変なメールが届いた。私のクレジットカードがスキミングされた恐れがあるので、決済内容を確認してほしいというものだ。そこに記載されているURLへ飛ぶと、怪しいと思われる日付、金額、請求先が書かれており、この内容に心当たりがなければカードはスキミングされているというものであった。確かに心当たりがないのでそのように回答すると、それではすぐに機能を停止しますとなった。これは新手の詐欺なのか？とも思ったが、こちらの情報は何も打ち込んでいる訳ではないので騙されたとしても大したことにはならないと思い、そのままにしておいた。後日これが本物と分かり、手続きをすることとなった。

怪しいメールはよく来る。曰く、あなた宛ての荷物が届いているので連絡願います。曰く、おめでとうございます！何々に当選したので…。曰く、こちらは国税庁ですが、あなたの納付すべき税金が…。とにかくあの手この手で騙してお金を取ろうとする人がたくさんいるようだ。

目的はお金とは限らない。いわゆる変質者と呼ばれる人たちもいるのだ。彼らはメールではなく、学校帰りの子どもたちへ直接言葉巧みに近づいて来る。当然親は「知らないおじさんとは話してはダメ」「何か買ってあげると言われてもついて行ってはダメ」と言わざるを得ない。人を信じるな。なんて悲しい世の中なのだ。

我々補導委員は今日も街なかを巡回し、機会を捉えて子どもたちに話し掛けます。大丈夫おじさんたちは君たちの味方だよと気持ちを込めて。

環 境浄化活動

青少年の目に触れさせたくない成人向け雑誌などを回収するため、福島駅など市内6か所に白ポストを設置し、定期的に回収・処分を行っています。青少年健全育成のための環境を整えることも補導委員の活動の一つです。



白ポストの回収

特 別補導活動

お祭りやイベントの際に会場周辺の巡回を行います。

今年度は、「花火大会」・「わらじ祭り」・「福島稲荷神社秋の例大祭」に加え「暁まいり」の時に補導活動を行いました。露店の陰や、暗がりでは不健全な状況はないか？子どもたちに声をかけながらの補導活動です。

警察官・PTA・教職員など、様々な立場の方々が子どもたちの安全のため活動していることを再確認し、我々もその一助となればという気持ちで頑張っています。



わらじ祭り特別補導

視察研修を実施しました

中央地区補導委員 大河内 秀也

令和6年10月17日東日本大震災・原子力災害伝承館の見学と相馬市民会館での研修会があり補導委員18名で参加しました。

2011年3月11日巨大地震が発生し私たちに大きな爪跡を残しました。辛くても後世につないでいかなければならない記憶です。伝承館での見学では、復旧復興への取り組みなど被害がもたらした教訓を痛感し、後世に伝えていかなければならないことを強く考えさせられました。

次に研修会では、県警本部少年女性安全対策課の小泉理恵氏による講演があり、福島県の少年非行の現状について詳しく解説していただきました。中でも驚いたのが不良行為少年の増加です。前年に比べて11%ほど増加しており、行為別では深夜はいかがい最も多く、次いで喫煙、飲酒、家出、粗暴行為と続いています。学職別では、高校生が最も多く、次に中学生となっていました。講演で感じたことはやはり街頭補導活動における「愛のひと声」の大切さです。青少年が健やかに成長できるように思いやりをもってひと声をかけることが大切だと思います。

今回視察研修に参加し学んだ青少



県連絡協議会補導委員研修会へ参加

年を非行から守ることで災害時の備えを後世に伝える言葉の重要性を念頭において、日々の活動に務めてまいります。

補導委員会方部懇談会参加報告

飯坂方部補導委員 長谷部 周二

令和6年度補導委員会方部懇談会は、補導委員会役員12名、飯坂方部補導委員11名参加のもと開催されました。懇談に先立ち、会長及び飯坂支所長より、この会で補導活動状況の把握や情報交換により、今後の活動の参考となることを願っているとの挨拶がありました。

第1部は事例紹介・意見交換で、中央地区及び県内の補導の現状や課

題について報告されました。市民から見える所で活動している青少年においてはほぼ問題なく、見えない所で活動している青少年について、より関心を持つていくことを大事にしたいとのことでした。生徒・学生は塾などで帰宅時刻が遅くなっているように感じており、一人ひとりを尊重した「愛のひと声」運動が必要で、引き続き見守っていききたいとのことでした。補導委員が見守っているという姿勢を青少年に見てもらうことが大事であり、社会全体で見守っていききたいものです。

第2部は福島市中学校長会の加藤広明氏（西根中学校長）より「地域の青少年の現状・小中学生はどこで何をしているのか」と題し講演していただきました。青少年を取り巻



補導活動に関する意見交換を実施

く環境は、新型コロナウイルスの流行、核家族化、スマートフォン等SNS通信による意識や行動は以前とは比べものにならないほど変化しているとのことでした。放課後及び休日の過ごし方についてアンケートを取った結果、スマホ・PCでの動画視聴・SNSをしていて、家族と一緒に出かけたり、友達と過ごす時間が減少傾向にあるとのこと、人間形成に大事な時期の青少年を見守ることを尊重した「愛のひと声」運動が広がることを願った次第でした。

青少年健全育成 功労表彰受賞

福島県青少年健全育成推進大会の席上、補導活動を通じて長年の青少年指導の功績が認められ次の方が表彰されました。

○福島県青少年

育成県民会議会長表彰

景井 正明（吉井田）

